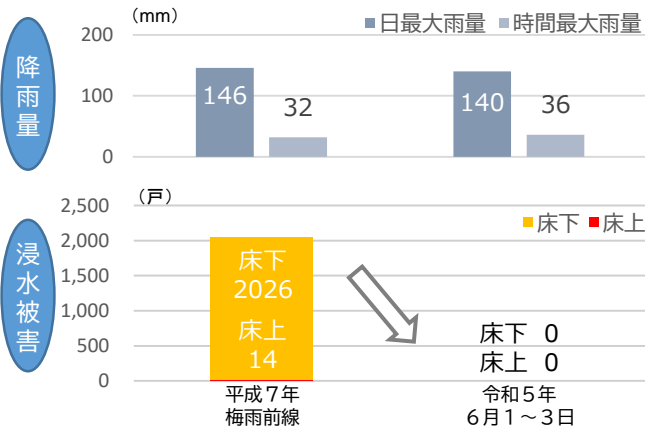
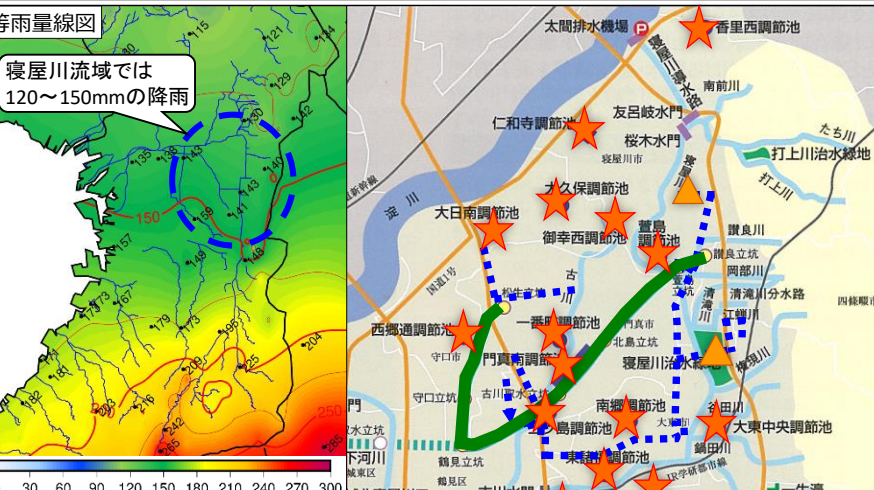
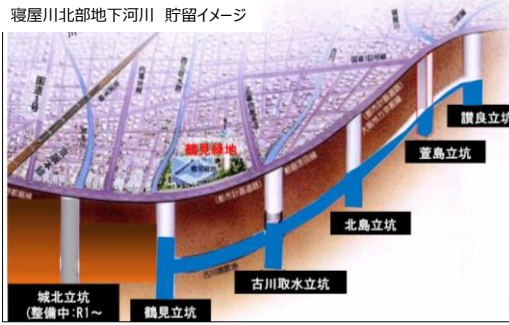


# 令和5年6月1～3日の大雨に対する治水施設の効果（寝屋川流域）

- 寝屋川流域では、河川、下水道等が一体となった総合治水対策として、遊水地、地下河川、流域調節池、下水道増補幹線等の貯留施設の整備を推進中。
- 去る6月1～3日の降雨は、大阪市城東区（寝屋川水系改修工事所）で最大時間雨量36mm/h、日雨量140mmを観測。平成7年に2,000戸を超える家屋浸水被害もたらした降雨と同規模であったが、家屋浸水被害は発生せず。
- 寝屋川流域ではこれまでの施設整備効果により、今回の降雨で施設が無い場合に想定される約526haの内水浸水被害を解消。（浸水被害軽減効果額は約563億円※）



## 【河川施設貯留状況（内水施設） 貯留事例】



<実際の立坑内の貯留状況>  
(立坑内部を上から撮影)

## 【令和5年6月1～3日の施設貯留量（令和5年6月5日時点）】

**貯留量 約 149.6万m<sup>3</sup> (供用済全貯留量 529.3万m<sup>3</sup>)**

【外水対策】 約50.8万m<sup>3</sup> 15.8%

- ▲： 打上川治水緑地 (約4.0万m<sup>3</sup>)
- ▲： 恩智川治水緑地 (約32.6万m<sup>3</sup>)
- ▲： 寝屋川治水緑地 (約10.4万m<sup>3</sup>)
- ▲： 花園多目的遊水地 (約3.8万m<sup>3</sup>)

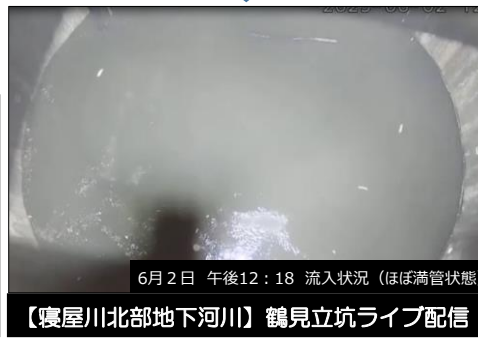
【内水対策】 約98.7万m<sup>3</sup> (下水道増補幹線含む)

- ： 地下河川 約78.2万m<sup>3</sup> 87.9%  
(北部：25.0万m<sup>3</sup>、南部：53.2万m<sup>3</sup>)
- ★： 流域調節池 約20.6万m<sup>3</sup> 33.6%  
(24箇所中22箇所で貯留)

## 寝屋川北部地下河川（鶴見立坑） 大阪市鶴見区



## 【河川施設貯留状況（外水施設） 貯留事例】



※ 簡易シミュレーションでの試算による。  
ただし、流域対応施設、外水施設の浸水被害軽減効果は対象外。